

氏名 林 顯效 ()				
研究分野		所属学会等の名称		
電気・電子工学、情報工学、音響工学、 環境科学、統計科学		電子情報通信学会、日本音響学会、日本騒音制御工学会		
担当授業科目名 情報リテラシーⅠ、情報リテラシーⅡ				
教育上の能力に関する事項				
事項	年	概要		
1 教育の実践例、教育に関する評価等				
2 作成した教科書、教材、指導書等				
3 教育実践に関係がある実務経験・委員・ 講師等				
職務上の実績（学術団体や社会等における活動）に関する事項				
事項	年	概要		
1 資格、免許、特許、受賞等				
2 学術・社会活動上の・委員・講師・実務 経験等 日本音響学会東海支部評議員 日本騒音制御工学会理事 三重県環境影響評価委員会委員 ほか15件	1991～ 1992～1996 1994～2005			
研究業績等に関する事項				
著書名、報告書名等	単・共 著の別	発行年	発行所等の名称	著者名・ページ数等
(著書) 1 騒音と日常生活 —社会調査データの管理・解析・活用法— 2 —音を診る— 騒音の計測と評価 dBとLAeq	共著 共著	2003 2006	技報堂出版社 技報堂出版社	久野和宏、林 顯效、 三品善昭 「他7名」 第6章近隣騒音 pp81～163 久野和宏、野呂雄一、 林 顯效 「他8名」 第6章音と日常生活、 第7章±2σの外 pp87～107
(報告書等)				
学術論文 学会発表等の題名	発表者名		発表誌名・巻・ページ・発表年等 学会名・発表年・開催都市名等	
(学術論文) 1 都市域における環境騒音の実態と住民意識の地域特性に 関する研究 2 A consideration of environmental quality standard for noise in Japan. 3 Comparison between old and new noise standards in Nagoya City. 「ほか25編」	林 顯效、久野和宏、三品善昭 他1名」 K. Kuno, A. Hayashi, Y. Oishi 「他1名」 A. Asai, Y. Mishina, A. Hayashi 「他4名」		日本音響学会誌、43巻、pp786 ～792, 1987 Journal of sound and vibration Vol. 127, pp565～572, 1988 Journal of sound and vibration Vol. 277, pp539～545, 2004	

<p>(学会発表等)</p> <p>1 住環境騒音と住民意識</p> <p>2 夜間における音環境基準について</p> <p>3 Reaction of inhabitants to environmental noise.</p> <p>「ほか 125 件」</p>	<p><u>林 顕效</u>、久野和宏、三品善昭 「他 1 名」</p> <p><u>林 顕效</u>、三品善昭、大石弥幸 「他 1 名」</p> <p><u>A. Hayashi</u>, Y. Mishina, K. Kuno 「他 2 名」</p>	<p>日本騒音制御工学会講演論 文集 pp381～384, 1986、神戸</p> <p>日本音響学会講演論文集 pp755～756, 1994、熊本</p> <p>Inter-Noise 2000 No. 639 pp1～4, 2000 Nice-FRANCE</p>
<p>(その他)</p> <p>平成 11 年度三重大学工学部リカレント教育講座 「騒音の新環境基準を考える」 ～名古屋市域における環境騒音の調査事例から～</p>	<p>久野和宏、大石弥幸、<u>林 顕效</u> 「他 3 名」</p>	<p>主催：三重大学工学部 4 章騒音に対する住民意識の 現状 5 章騒音による睡眠妨 害の実態とその分析 pp31～48, 1999</p>